

■出題傾向

小学校や中学校で繰り返し学習してきた、話すこと、聞くこと、書くこと、読むこととの分野のうち、書くこと、読むこととの分野について、高等学校で学習するための、基本的な力が身に付いているかどうかを確認するための出題をします。

●出題する文章は現代文と古文

[現代文関係]

- ・漢字の読み書きの問題
- ・口語文法の知識を確かめる問題
- ・一般常識を確かめる問題
- ・文章の展開に従って正確に読み取ることが出来るかどうかを確かめる問題
- ・文章の要点をまとめる問題
- ・指示語、接続語などに関する問題
- ・対義語、熟語、ことわざなどの言語事項一般に関する問題
- ・表現技法に関する問題

◎解答の形態は、記述、記号選択、空欄補充など

[古文関係]

- ・歴史的仮名遣いなどの古文を学習する上での基礎事項の問題
- ・指示語などに関する問題
- ・言い換えの表現を指摘する問題
- ・省略されている主語を指摘する問題
- ・全体の内容を把握する問題
- ・文学史の知識を確かめる問題

◎解答の形態は、記述、記号選択、空欄補充など

■解答分析

- ・正確な基礎知識が身につけていない傾向がある。漢字の書き取りで一画一画を正確に書く、口語文法で用言の活用について理解を深めておきたい。
- ・記述問題等で他者に伝わる文章表現ができていない傾向がある。日頃から口語文法の再確認、記述解答の練習が必要。
- ・答え方の不備が気になる。問で聞かれていることに正確に答える練習が必要。

■学習アドバイス

多くのジャンルの文章に接し、一定の時間内で文章を読むことに慣れることが大切です。特に評論は、読んだ後で筆者の言いたいことを一度自分でまとめてみましょう。そのために教科書以外の文章でも要約に挑戦することが有効です。また文章の細部に気を配って、言い換えの表現や対義表現に注目しながら読む練習も心掛けてください。

漢字は、正しい筆順で正確に書くことを日頃から心がけてください。また、わからない言葉や不確かな言葉が出てきたら、すぐに辞書で意味を調べることで、自分の言葉が豊富になっていきます。記述式の問題に答える上でも、口語文法の知識を充分につけておくことが大切です。

古文では、学校の基礎的な古文学習のほかに、説話または随筆の古文に多く触れ、文章全体の内容を把握できるようにしておくことが必要です。注にある語の解説を手がかりにして、全体の粗筋を読み取る練習をすることが大切です。